

陸上競技ファンの皆さまへ

今シーズンのトラック&フィールド競技は、「令和4年度短距離チャレンジ記録会（2022.11.3）」が最終戦となりました。

皆さまからのご支援・ご協力に対し心より感謝申し上げます。

2022年は、本県において第106回日本陸上競技選手権大会混成競技兼第38回U20日本陸上競技選手権大会混成競技が開催されました。本県初の日本陸連主催大会の実施であり、本協会としてのメモリアルイヤーとなりました。

県民に深い感動と明るい希望を与え、県民のスポーツ振興にとっても有意義な機会になったと確信しております。

とちぎ国体では、選手たちの頑張り強化システムの成果が実り、天皇杯37点（38位）、皇后杯17点（42位）を獲得し、高校生の活躍など今後につながる成果を残してくれました。

今シーズンの競技運営は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を優先的に行い、かつ、少数精鋭の公認審判員体制で取り組みました。予定されていた競技会を、ほぼ無事に終了することができ安堵しております。

しかし、「応援・観戦のマナー」について、一部の方より匿名でご指摘をいただくなど、本協会に対する厳しい意見も聞こえてきております。このことは、日々精進している選手たちの事を考えると忸怩たるものがあり、課題や対応を明確にし、本協会として早急に改善していくよう検討してまいります。

ご迷惑をおかけしましたことに、深くお詫び申し上げます。

来シーズンも「未だ終息が見えない新型コロナウイルス感染症対策」「子供たちを狙う盗撮問題」等、様々な課題に対し万全を期して参りますので、今後とも皆さまからのご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

11月に入りますと、いよいよ「駅伝シーズン」の到来です。

引き続き、皆さまの応援をよろしく申し上げます。

一般財団法人秋田陸上競技協会